

スポーツ現場実習Ⅳ

科目ナンバリング SPS-409
選択 1単位

佐保 泰明・鶴 健一郎

1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーの活動であるスポーツコンディショニングやアスレティックリハビリテーション、トレーニング指導などを実際のスポーツ現場で行えるよう実習を行う。

特にこの授業では、実習現場で行った活動をまとめ総合的に評価し、発表することを目的とし、各論ではアスレティックリハビリテーションの実習を行う。

※2年生のスポーツ現場実習Ⅰを修得していること、春休みに開催される報告会への参加を単位認定の条件とする。

2. 授業の到達目標

- ・症例を適切に説明できている
- ・症例を事前に勉強している
- ・適切な評価を行い、それが説明できている
- ・どのような対応(アスリハ)を行い、それが適切に説明できている
- ・総合的に適切に報告が行えている

3. 成績評価の方法および基準

実習への参加意欲・活動(50%) レポート(25%) 報告会発表(25%)

4. 教科書・参考文献

教科書

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナーの役割』

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション』

広瀬統一 編集 アスレティックトレーニング学 文光堂

福林徹 編集 アスレティックリハビリテーションガイド 文光堂

5. 準備学修の内容

参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて事前学習しておくこと。スポーツ現場に入る前に、現場実習のルールやマナー、心構えなどについて再確認しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

スポーツ現場に入る前に参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて学習し、実習に意欲的に取り組むこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスほか
- 【第2回】 アスレティックリハビリテーションの考え方
- 【第3回】 運動療法について
- 【第4回】 物理療法について
- 【第5回】 徒手療法について
- 【第6回】 リスク管理の基礎知識
- 【第7回】 体幹のリハビリテーションプログラミングと実践
- 【第8回】 上肢のリハビリテーションプログラムと実践
- 【第9回】 下肢のリハビリテーションプログラムと実践
- 【第10回】 全体を通じてのプログラミングデザインの考え方
- 【第11回】 ATの役割を考えた実習のまとめ
- 【第12回】 実習を通じて重要だった点を考える
- 【第13回】 適切な対応ができた点、できなかった点を考える
- 【第14回】 症例を考える
- 【第15回】 症例報告と総評

それぞれ現場での実習を行いながら学んでいく